

ROYAL-TIMES



写真=4Fの庭園 (2025年1月10日)

2025年

岡 聖史
2025年 1月 2日

新年あけましておめでとうございます。旧年中は格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。本年も、皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。さて、昨年末は、施設内で感染症が発生し、ご利用者様ならびにご家族様にご心配とご不便をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。年末年始は、全国的に感染症が流行し、多くの方々が大変な思いをされたことと思います。今後ご利用者様の健康と安全を第一に考え、感染防止対策に万全を期してまいります。2025年は、巳年ということもあり、「再生」を象徴する年とされています。私たちもこの機会に、新たな気持ちで、皆様に喜んでいただけるサービスの提供を目指してまいります。今後とも、ロイヤルホームをよろしく願いいたします。



写真= 初詣の様子 (2025年 1月8日)
琴平神社でお祈りしている様子

初詣へ

高橋 望
2025年1月13日

1月8日、私たちは武州柿生琴平神社へ初詣に出かけました。この日は雲一つない晴天で、清々しい新年のスタートにぴったりの日でした。初詣は午前に行うのが一般的ということで、午前10時半に施設を出発しましたが、神社は多くの参拝客で賑わっていました。

琴平神社は柿生エリアで最も有名な神社です。本殿は急な階段があるため、上るのが難しい方もいらっしゃると思いますが、比較的新しく作られた儀式殿にはスロープが設置されており、車椅子の方でも安心してお参りができます。バリアフリーの配慮が行き届いた施設であることが印象的でした。

参拝の前には、手水舎でしっかりと手を洗い、心身を清めました。その後、茅の輪くぐりを行い、新しい一年の無病息災を願いまし

た。儀式殿でお賽銭を入れてお参りを済ませた後は、奥にある銭洗い弁天へ向かいました。そこでの出来事は、今でも心温まる思い出です。職員が「お賽銭用のお金を持ってくるのを忘れた」と話すと、入居者様の一人が「私のお金を使っていいよ」と優しい申し出をしてくださりました。しかし、別の方から「他人のお金でお賽銭をするのは良くない」と指摘が入り、その場が和やかな笑いに包まれました。さらに、銭洗い弁天にちなみ「お札も洗えるのか？」という話題に発展し、「お札がびしょ濡れになると乾かすのが大変だね」と冗談を交わすなど、大変賑やかで楽しいひとときとなりました。

初詣を通じて、入居者様同士や職員との絆が深まり、新年の縁起を担ぐだけでなく、心温まる交流の場となりました。今年も皆さまにとって素晴らしい一年となりますように。



写真=参拝前の手水の様子 (2025年1月8日)

今月のトピック

- 初詣へ
- 年末の恒例行事
- 今季のレクリエーション
- 委員会報告(栄養管理委員会)

年末の恒例行事

岡 聖史
2025年 1月 2日

11月末から12月後半にかけて、新型コロナウイルスによるクラスターが発生しました。クリスマス会の開催を心配しながら対応する日々でしたが、無事に開催できてほっとしています。

さて、年末恒例のクリスマス行事では、サンタクロースからのプレゼントと楽しいレクリエーションをお届けしました。今年も、元宝塚女優を模したパペットによる歌と踊りが披露されると、ご入居者様はもちろん、職員からも笑い声があふれていました。あるご入居者様はパペットをじっくりと眺め、「まあ……(笑)」と何とも言えない感想をいただき、和やかな雰囲気が広がりました。このパペットショーも毎年恒例の楽しみとなっています。

また、サンタクロースは「どこかで見たことがある顔ね」、「あれ?」、「石原さん!(笑)」、「あはははは(笑)」といった声があがり、大変ご好評でした。サンタクロースからプレゼントをお渡しした後は、皆さんで写真撮影を行いました。出来上がった写真を見てみると、今年はトナカイが見当たりませんでした。来年はぜひ、サンタのお供を忘れずに用意したいですね。



写真=クリスマス会の様子(2024年12月20日)

VOICE

2025年 1月1日

・皆様こんにちは。ロイヤルホームに勤務して3ヶ月が経ちました。他の職員さんに助けられながら、少しずつ業務に慣れてきたところです。ご入居者様やご家族様から「仕事頑張ってるね。これからどうぞよろしくね。」とあたたかいお声掛けをいただき、とても励みになっております。まだまだ至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけするかと存じますが、よろしくお願いいたします。



・新年あけましておめでとうございます。昨年は外出レクや料理作りレクなど様々な形でレクで利用者の方々と一緒に楽しんでまいりました。学ぶことや気づきの点でも勉強になった一年となり、今後の活動に活かしていきたいと思っています。おっと、皆さんが既に集まっているようなので、これにて失礼します。



振り返り

岡 聖史
2025年 1月 2日

自身の理想像と現実とが、どの程度近いかを”自己一致”という言葉で表現します。これは臨床心理学者のカール・ロジャーズの理論であり、この自己一致が多いほど自己肯定に繋がりが精神的に安定するそうです。とはいえ、思い通りに行かない事も少なくありません。そんな時は自分の目標が「真の目指している姿」なのか再度見直す事をお勧めします。「〇〇が大事」、「△△がしたい」等思いつくままに価値観をリスト化し優先順位を付けてみましょう。

今季のレクリエーション

2024年12月は、新型コロナウイルスが施設内で蔓延し、人を集めてのレクリエーションを中止せざるを得ない状況となりました。そんな中、唯一12月20日にクリスマス会を開催することができ、職員一同ほっと胸をなでおろしました。1月になっても、インフルエンザの流行が続いています。引き続き体調管理には十分お気を付けください。
写真=(2024年12月20日)



委員会活動報告 (栄養管理委員会)

岡 聖史
2025年 1月 8日

栄養管理委員会ではご入居者様の栄養状態を毎月チェックし、維持改善に努めています。月に1度のラウンドでは、ご入居者様の現在の栄養状態を確認するとともに、摂食嚥下の機能、身体機能、リハビリの実施状況、日常生活機能の変化と様々な視点を考慮しています。

海外では“肥満逆説”という言葉があります。肥満は様々な病気の危険要因と言われていますが、高齢者における肥満は一定の利益があるそうです。日本人における肥満逆説が確認

きているのかは不明ですが、痩せているよりも多少体重がある方が骨折、肺炎に罹患した場合、回復に良い影響を与えるそうです。とはいえ、あまりにも体重が増えすぎると健康に悪影響を与えます。そこでBMIという指標(=体重÷身長²)が非常に重要となります。ホームでは18.5~25の範囲でその方にあった栄養状態を算出し、最も健康によいとされている22に近づけるよう計画を立案しています。

写真=(2023年 魚料理のソフト食の例)

